教員おすすめ図書コーナー推薦書

教　員　氏　名 若林　隆久　先生	おすすめメッセージ
①　図書名：対話と決断」で成果を生む　話し合いの作法 著　者：中原淳 出版社：PHP 研究所　　ISBN：　9784569851846	「話し合い」うまくできていますか？ 家族、友人グループ、サークル、部活、学生団体、アルバイト、授業、ゼミ…日常の中でも話し合いをして何かを決めて実行するというシーンは珍しくないと思います。うまくいくこともあれば、そうでないこともあるでしょう。意見を言えなかったり、逆に主張しすぎえしまったりということもあるかもしれません。 そもそも良い話し合いとはどのようなものであり、話し合いでどうすればよいのかについて教えてくれる本書は、日々の日常にも将来にも役立つヒントをくれるのではないかと思います。
②　図書名：定年前と定年後の働き方：サードエイジを生きる思考 著　者：石山恒貴 出版社：光文社　　ISBN：　9784334046620	人生１００年時代と言われ始めて久しいですが、長い人生の中でどのように働いていくかは常にわれわれを悩ませます。それは大学生のみなさんも定年前後のシニアも変わりません。 社会的にもホットなトピックである高齢世代の働き方について考えることで、これからの自分の仕事や働き方について、より多角的により長い射程で考えられるようになるのではないかとおもいます。
③　図書名：コア・テキスト　組織学習 著　者：安藤史江 出版社：新世社　　ISBN：　9784883843022	組織は学習すると思いますか？ 普通は学習といえば個人によってなされるものです。 一方で、自分たちが所属する組織が、活動を変化させたり、よりうまいやり方をするようになったりすることがあります。あるいは、数年でメンバーが卒業してしまう学生組織のように、メンバーがすっかり入れ替わってしまっても、組織の活動が同じ状態で維持され続けることもあります。こういったとき、組織が学習していると言えるのかもしれません。 「果たして個人の学習の総和が組織の学習なのか？」など疑問は尽きませんが、学習をとっかかりとして個人と組織の関係について理解が深められます。